

令和5年度 事業報告

1 臓器提供意思表示の推進や移植医療の普及啓発事業

- (1) みやざき “いのちのリレー” ポスターコンテスト
募集期間：7/24～9/8 応募総数：118点 表彰式：10/29
入賞作品展示：10/2～10/7(イオンモール宮崎)、10/10～10/23(県企業局1階ギャラリー)
※ 一般社団法人宮崎県腎臓病協議会と共催して実施
 - (2) グリーンリボンキャンペーン in みやざき (10/1 於：イオンモール宮崎)
ステージ：ステージバルーンツイスターによるステージパフォーマンス、
臓器提供意思表示の呼びかけ
啓発ブース：デジタルサイネージでの啓発動画放映、ポスターやバナー展示、
リーフレットの設置
 - (3) 宮崎県庁グリーンライトアップ (10/15～10/21)
 - (4) 県内市町村、医療機関、公共機関等でポスター掲示、リーフレットの配布
 - (5) 出前講座
 - ・ 鵬翔高等学校 看護専攻科
 - ・ 都農町立都農中学校
 - ・ 宮崎大学医学部 看護学科
 - ・ 日南学園高等学校田野分校 看護専攻科
 - ・ フィオーレKOGA看護専門学校
 - ・ 日南看護専門学校
 - ・ 都城東高等学校 看護専攻科
 - ・ 延岡看護専門学校 医療高等課程
 - ・ 都城医療センター附属看護学校
 - ・ 都城看護専門学校 医療高等課程
 - (6) 情報誌「MOTTO」発行
 - ① 「MOTTO49号」令和5年8月
 - ② 「MOTTO50号」令和6年1月
- ※ 臓器提供意思表示に関するリーフレット等 配布枚数：16,595枚

2 腎臓移植推進助成事業

腎臓移植希望者への組織適合性検査（HLA）の費用助成：2名

県内在住者の78名が日本臓器移植ネットワークへ腎臓移植希望登録(R5.12.31現在)

3 協力体制整備支援・推進事業

(1) 腎臓提供協力病院連絡会議

第1回 10/31（ハイブリッド方式により開催）

講師：茨城県日立総合病院 救急集中治療科 小山 泰明 先生

演題：臓器提供のリアルな現場

— “つなぐ医療”をつなげるために全ての医療者に伝えたい事 —

第2回 3/6（WEBにより開催）

講師：鹿児島県立大島病院 救命救急センター長 中村健太郎 先生

演題：臓器提供の適応判断とドナー管理

(2) 院内臓器提供体制整備支援

- ・宮崎県立宮崎病院を定期的に訪問 ～院内臓器提供体制の強化を支援
- ・協力病院を訪問 ～院内の体制の把握、情報提供 等

4 賛助会員の拡充等

県内各種団体、市町村等約1,700箇所へ宮崎県移植推進財団の活動状況を添え、賛助会員・寄付を募集した。

賛助会員：法人 84 団体、個人 77 人 2,501,000 円

寄 付：延べ 643 団体・個人 1,996,234 円

合計 4,497,234 円

5 あっせん業務へのコーディネーターの派遣

- (1) ドナー情報 0 件
- (2) 提供数 0 件
- (3) 移植数 1 件
- (4) 他県でのあっせん業務支援 8 件